



ほほえみ

平成28年
9月号
No.37

収穫に笑顔あふれる



表紙：京丹波町社協デイサービスセンターほほえみ

もくじ

- 平成27年度事業報告・決算報告… 2
- 新役員・新評議員紹介…………… 4
- 赤い羽根共同募金のお願い…… 5
- 認知症について…………… 6
- 災害ボランティアセンターよりお知らせ… 7
- 社会福祉体験学習について…… 8
- 作業所NEWS…………… 10
- ファミリー・サポート・センターよりお知らせ… 11
- 寄付お礼・第5回福祉まつりのお知らせ… 12

デイサービスセンター「ほほえみ」では、今年度から駐車場横に菜園を作り、夏野菜の植え付けを行いました。植え付けから、収穫までの間、利用者さんにいろいろ教えていただいたり、お手伝いをしていただいたりしながら、収穫を楽しみにしている毎日でした。

初めての取り組みでしたが、胡瓜、トマト、茄子が見事に大きくなり、収穫した野菜は、昼食時に利用者さんに食べていただき、「上手にできた、おいしいわ」と大変喜んでいただきました。

これからも利用者さんと一緒になって、「ほほえみ農園」の野菜づくりに取り組んでいきたいと考えています。

これまでの10年の振り返りと これからの10年に向けた第一歩を

第4回福祉まつりにて、長年、共同作業所に作業や仕事を提供いただいている町内の事業所や個人の方々に、「地域障害者福祉功労者表彰」として感謝状を贈りました。



京丹波町社会福祉協議会では、5月26日（木）評議員会を開催し、平成27年度事業報告ならびに資金収支決算の承認をいただきました。

27年度は、社協合併10周年を迎え、これまでの地域福祉の取り組みや組織体制について振り返ると共に、これからの10年に向けたさらなる地域福祉の発展に向けて考え、取り組みを始める一年となりました。

住民参加による生活支援の システムづくり



住民の主体的な参加と協力により「お互いさま」の気持で助け合う活動を構築するため、活動者養成講座を開催しました。

全講義受講者 35名に修了書を交付
28年度より住民寄り添い型助け合い活動「かがやき」として事業スタート

地域福祉活動の基盤強化のための ネットワークづくり



町内商店や金融機関を対象に、高齢者の不安解消や認知症の方への理解や対応を研修することで、高齢者に優しい事業所として、普段から見守りを行っていただくよう研修を実施しました。

京都高齢者あんしんサポート企業研修
27年度受講事業所 56事業所 (96名)

介護保険サービス



介護保険サービス事業のさらなる充実を図るなかで、職員研修の実施や京丹波町全域へのサービス提供に向け、事業所の統一準備を進めました。

赤い羽根共同募金の新しい募金のしくみ



募金機能付き自動販売機を初めて町内3カ所に設置したことや、寄付金つき商品の販売による募金により前年度を上回る募金額となりました。

募金機能付き自動販売機設置場所
丹波自然運動公園、総合設計正田建築事務所、道の駅「和」

地域福祉活動を支える助成金



住民が主体となって取り組んでおられる地域福祉活動に対し、共同募金の配分金を助成金として活動を支援する「じぶんの町を良くする助成事業」を27年度からはじめました。

27年度は7団体に助成金を配分しました。

災害に強いまちづくり

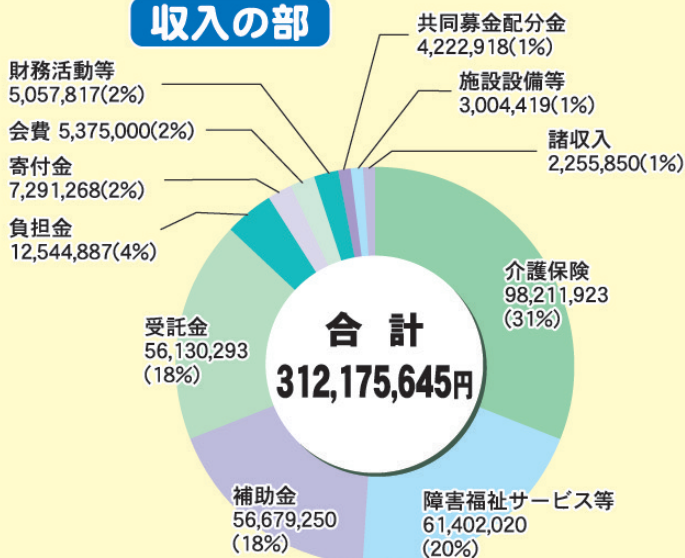


京丹波町災害ボランティアセンター町民講座として日本赤十字京都支部から講師を招き、東日本大震災での活動の様子や高齢者が避難所生活で気をつけなければならない注意事項などの研修を行いました。

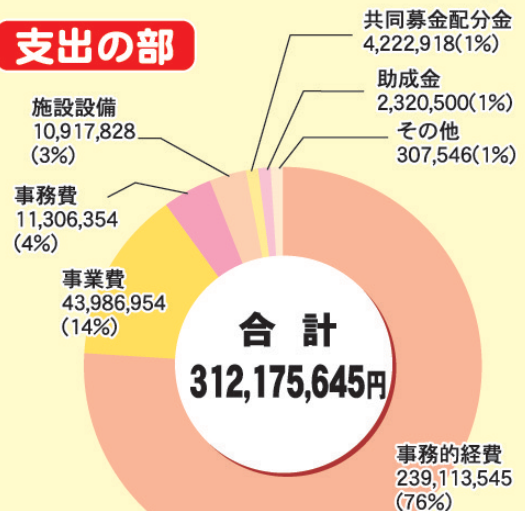
その他にも… 障害者共同作業所の運営やファミリー・サポート・センターでの子育て支援など様々な福祉事業を展開しました。

平成27年度 京丹波町社会福祉協議会 決算

収入の部



支出の部



単位：円

平成28年度 社協理事・評議員 新体制のご紹介

◇ 理 事 (敬称略・順不同)

氏 名	選出区分
◎波瀬 孝澄	学識経験者
○谷垣 勇	学識経験者
○正田 恭丈	学識経験者
田中 強	民生児童委員協議会
石田 美恵	民生児童委員協議会
竹内 繁夫	民生児童委員協議会
湊 嘉秀	区長会
山上 幸二	老人クラブ連合会
竹内 裕子	女性の会
片山 俊明	福祉団体・機関
江本 正昭	福祉事業団体
向井 章代	ボランティア代表
大西 義弘	町行政

◎会長 ○副会長

◇ 監 事

氏 名	選出区分
小畑 圭一	税理士
榎本 藤雄	行政書士

◇ 評 議 員 (敬称略・順不同)

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
一谷 徹	口八田区	北野 秀治	町老連
稲葉 文男	下山区	木上 實	町老連
軽野 文明	水原区	山下 典子	女性の会
後藤 哲雄	戸津川区	坂本美智代	女性の会
田畑 孝夫	行仏区	西村 正宏	身障福祉会
今海 博文	西河内区	山下 立男	身障福祉会
隅山 卓夫	本庄区	尾上 正紀	福祉事業団体
西村 元邦	広野区	井上 和重	福祉事業団体
山本 和之	民児協	山本 英夫	福祉事業団体
太田志げみ	民児協	森田 悦子	ボランティア代表
松野美代子	民児協	中村 公子	ボランティア代表
阪内 敏明	民児協	水嶋 真弓	ボランティア代表
春田 貢	民児協	今川 博子	ボランティア代表
原田 芳子	民児協		

平成27年 京丹波町の募金額

赤い羽根共同募金

3,191,668円

戸別募金	2,986,125円	法人募金	34,863円
イベント募金	52,035円	街頭募金	16,094円
窓口・職域	102,551円		

歳末たすけあい募金

1,988,103円

戸別募金	1,934,738円	法人・個人募金	53,365円
------	------------	---------	---------

合計 5,179,771円

赤い羽根 共同募金

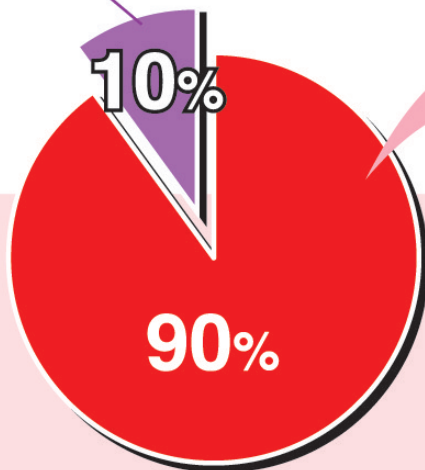
あなたの募金は、あなたの町へ
今年もはじまります

京丹波

10月1日～12月31日
ご協力よろしくお願ひします

京都府全体の
福祉事業のために

(府下の施設・団体等に配分)



福祉まつりの開催



災害対策事業



広報ほほえみの発行



福祉教育の推進



じぶんの町を良くする活動助成

赤い羽根共同募金



おかげさまで70周年

10月1日～12月31日

赤い羽根 検索 www.akaihane.or.jp



認知症 ~早く気づくことが大切です~

認知症は誰にでも起こりうる脳の病気によるもので、85歳以上になると4人のうち一人に認知症状があるといわれています。その数は今後20年で倍増するとも予想されています。

認知症とは

脳や身体の病気が原因で、記憶力・判断力などが低下し、日常的に生活のしづらさが生じている状態のことをいいます。

認知症は徐々に進行するものですが、治療やリハビリをしながら自分らしい生活を長く続けている方もたくさんいらっしゃいます。認知症のサインになるべく早く気づき、もしかしたら・・・？と思ったらかかりつけ医や相談窓口にご相談してみましょう。

治療により改善する場合があります

原因となる病気の種類によっては、治療により認知症状が改善する場合があります。

進行を遅らせることが可能な場合もあります。

生活習慣病の予防や服薬治療で、認知症の進行を遅らせる効果が期待できます。

また早い段階で始めることが、その効果を高めると言われています。

早い時期に認知症について正しい情報を得て、今後に見通しを持つことが、本人と家族の安心につながります。

また、金銭管理や介護などについても備えをしておくことが大切です。

「認知症」早期発見のめやす

物忘れが増えた

料理や家事などができなくなり
なった

日付や曜日がわからないことがある

今切ったばかりなのに電話の相手の
名前を忘れる

簡単な計算や運転などのミスが
多くなった

しまい忘れ置き忘れが
増えいつも探し物を
している。

些細なことで怒りっぽくなった



困ったときは早めに相談しましょう

相談
窓口

京丹波町社会福祉協議会内 ケアプランセンターほほえみ
電話 86-1440 お気軽にご相談ください

その他の
相談窓口

【京丹波町】地域包括支援センター 電話 86-1370
【京丹波町病院】物忘れ外来 毎月第2火・土曜日

町内各高齢者施設でも相談を受け付けています。一人で悩まず、抱え込まず、お気軽にご相談ください。

※資料引用：全国キャラバン・メイト連絡協議会

風水害から身を守りましょう

～台風の季節です。準備はできていますか？～ (京丹波町災害ボランティアセンター)

7月から10月にかけて、日本に台風が接近・上陸する『台風の季節』となります。傾斜が急な山や川が多い日本では、台風や大雨によって毎年のように川の氾濫・土砂災害等が発生し、人々の生活や命が脅かされています。

京丹波町においても、近年では平成16年23号台風や平成25年18号台風により町内各地で土砂の流入や家屋の浸水などの被害が出たことを記憶されている方が多いと思います。

『台風の季節』の今、風水害から身を守るために知っておきたいことや、気をつけたいことについていくつかご紹介いたします。



◆気象警報・予報の種類



特別警報

重大な災害の危険性が差し迫っている場合に命を守る行動を呼びかける予報

警報

重大な災害が起こる恐れがある時に警戒を呼びかける予報

注意報

災害が起こる恐れがある時に注意を呼びかける予報

◆雨の降り方・強さの目安

気象用語	降雨量(時間雨量)の目安	降り方・強さ・危険性の目安
やや強い雨	10mm以上 20mm未満	ザーザーと降り、地面一面に水溜まりができるような雨。この程度の雨でも長く降り続く場合は災害への注意が必要
強い雨	20mm以上 30mm未満	土砂降り、傘をさしていても濡れてしまうような雨。側溝や下水、小さな河川が溢れ、小規模のがけ崩れの心配もある。低地、危険区域は注意が必要。
激しい雨	30mm以上 50mm未満	バケツをひっくり返したような雨。道路が川のようになり、山崩れ・ガケ崩れなどの土砂災害発生危険有り。土砂災害警戒区域や急傾斜地の付近では避難準備。危険区域は「念のため、明るいうちの自主避難」が大切。
非常に強い雨	50mm以上 80mm未満	滝のように雨が降り、傘が全く役に立たない。辺りが水しぶきで白っぽくなり、先が見えない。マンホールから水が噴出したり、中小河川が氾濫したりし、土砂災害が発生・拡大する危険性が高く、警戒が必要。
猛烈な雨	80mm以上	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じるような雨。雨による大規模災害発生の恐れが極めて高く、厳重な警戒が必要。このような雨が降ると気象庁「記録的短時間大雨情報」が出されることがある。

◆洪水時の注意点

避難情報など情報の収集を！

テレビ・ラジオ・インターネットなどを通じて最新の気象情報を収集し避難に備えましょう。危険を感じる場合は早目に自主避難をしましょう。また役場などから出される避難の呼びかけには応じるようにしてください。

豪雨・浸水中の避難

人の歩くことができる水深は流れが無い所で男性70cm、女性50cmと言われています。避難の際に豪雨・浸水がある場合は危険が伴いますので、流失の危険が無い場合は無理をせず2階や高台に避難してください。

避難の際は足元・頭上など注意

水溜まりを歩く際、マンホールの蓋が空いていたり、思わぬ物が沈んでいたり危険が潜んでいる場合があります。また風雨が激しい場合、看板や瓦等が落下してくることも予想されます。周囲の安全を十分注意して歩いてください。

河川や橋に近づかない

河川の様子を見に行ったり、水路の管理をしに行ったりして多くの方が濁流に飲み込まれておられます。家や田畑のことも気になるという気持ちはわかりますが、命を守ることを優先し、河川や橋に近づかないようにしてください。

低地や窪地の冠水に注意

低地や周囲より低くなっている窪地は、水が溜まりやすく、危険です。このような所を車で通過しようと試みて水没してしまうことがあります。冠水している所があれば、迂回するなどして、通行を避けるようにしましょう。

都市型水害にも注意

近年、アスファルトやコンクリートに覆われた道路・敷地に局所的な豪雨が降り、下水道や河川から水が流入し被害をもたらす都市型水害が多発しています。豪雨の際の地下道や地下鉄などの利用時には、十分注意してください。

験学習

担う中学生・高校生を対象に町内の福祉事業所のご協力のもとに毎年実施しております。

り、やさしさ、人としての本当の強さを培う。
ンティア活動への参加の意欲など)を具体的に想像できるようにする。
をねらいとして実施しました。
ジェル・丹波高原荘・瑞穂山彦苑の5事業所で体験してもらいました。
もほぐれ、3日間を有意義に過ごしてくれたように思います。



自分が保育所に通っていたころには分からなかったこと、まだ見えていなかったものを多く知ることができました。印象に残ったのは、先生方が子どもが遊んでいる間は教室全体を見ながら一人ひとりの様子もみて、寝ている間はこどもたちのことを話し合っている姿でした。大変ですがやりがいのある仕事だということが伝わってきたので、よい保育士になれるように頑張りたいと思います。

〈高校生参加者〉



かりました。
る気持ちが高まってくる

ひと夏の経験を次のステップへ

平成28年度 社会福祉体

京丹波町社会福祉協議会の社会福祉体験学習は、「福祉の風土づくり」を目指し、次世代の京丹波町を本年度も中高生の自主的な参加をもとに

- ①福祉施設や地域において子供や高齢者、障害のある人たちと触れ合うことにより、命の尊さや思いや
- ②実際に福祉施設で働く職員の体験をすることにより、生徒の将来の夢(福祉職場への就職の夢やボラ
- ③自分たちが住む地域の施設で体験することにより自分たちの住む地域を知り大切に思う心を培う等

今年は中学生8名、高校生5名合計13名の参加申し込みがあり上豊田保育所・瑞穂保育所・和知エソ参加生徒のみなさんは初日緊張しながらも、利用者の方々や園児と一緒に過ごすうちに少しずつ緊張

3日間で印象に残ったことは？

- ・みんなの笑顔が良かった。
- ・笑顔でたくさん話してくれた事。
- ・紙芝居を読んだこと。
- ・お昼寝で子供を寝かしつけられた事。
- ・名前を早く覚えてくれた事。
- ・子供があいさつをしっかりとしていた。
- ・「手をつなごう」と来てくれた事。
- ・お昼寝中の仕事。
- ・「帰らんでええがな、ずっとあたらええ」と言ってもらったこと。



協力事業所の方へのアンケートより

- 3日間の実習お疲れ様でした。将来この仕事に就きたいと思いながら実習しておられる姿がよくわ
- 憧れの仕事を実際に体験することで将来の目標が見えてきたり更にそれに向かって頑張ろうとするのではないかと思います。京丹波の子どもを育てるためにも良い取り組みだと思います。
- 今回の体験が保育所・福祉施設または、ほかの職場においても大いに生かされることを願っています。

京丹波町共同作業所 自主製品紹介

さをりバッグ・ポーチ



木製プランター



花模様・アームカバー



木製プランターは
置き方やアイデア
次第で本棚や飾り棚
としても使えるよ☆



京丹波町共同作業所では、自主製品としてさをり織りや紙製品、木工品に縫製品まで様々な種類の商品を作成・販売しています。また、イヤリングやビーズプレスレット、髪どめなどの装飾品も製作しています。

目玉商品の木製プランターは、1本の木材をカットし焼き、組み立て、磨きなどの工程をひとつひとつ丁寧に作っています。他の商品も同様に、たくさんの工程を手作業で行っています。

今回紹介された商品の他にも様々な商品が多数あります。催し事の景品や粗品でもお使い頂ける商品も揃えていますので、お気軽にお問合せ下さい。

今後の販売予定

- 9月24日(土) イオンモール内の販売会：イオンモール京都桂川
- 10月15日(土) 和知ふれあい祭り：道の駅「和」
- 10月22日(土) 丹波桜梅園秋祭り：丹波桜梅園
- 10月30日(日) 福祉まつり：山村開発センターみずほ
- 11月5日(土) 和知中部収穫祭：作業所和知支所前広場
- 11月20日(日) 三ノ宮ふれあいまつり：作業所瑞穂支所前

NEWS 共同作業所



京丹波町共同作業所では：

障がいを持つ方々が地域の一員として自分らしい生活が出来るよう、就労訓練や生活能力向上のための援助を行っています。

◆問い合わせ先◆

丹波本所 ☎82-2015
瑞穂支所 ☎88-5200
和知支所 ☎84-5005

京丹波町ファミリー・サポート・センターから

平成28年度第1回提供会員養成講習会を開催しました

●平成28年6月23日(木)、6月30日(木)、
8月26日(金) 瑞穂保健福祉センターにて



緊急時の対応
救急救命講習

子どもの権利
(人権)について



子どもの社会性と
遊びについて

今回の工作は、パクパク人形
第2弾アンパンマン
シリーズです。

この他に、保健師による安全や病気の講習、京丹波町子育て支援制度などの講座も持ち、子どもを預かるための知識や遊びの工夫を得るために一生懸命に受講されています。

今回はファミサポ開設5年目ということで、5年目の提供・両方会員の更新講習も実施しました。

28年度の第2回目の養成講習会は、12月に予定しています。
子育ての応援にご関心をお持ちの方大歓迎です。

ファミサポ会員交流会の様子



普段なかなかこ
ういったリラックスす
る時間も持てないの
で、参加して
よかったです。



託児ルームでも提供
会員に見守られ楽しく
過ごしていました。



会員登録や交流会・講習会など、ファミサポセンターについてのお問い合わせは
京丹波町社協 地域福祉課 ☎82-0126 まで

善意のご寄付

ありがとうございます
みなさまから寄せられた善意は、社会福祉事業に大切に使用させていただきます。

（平成二十八年六月一日～八月三十一日まで）

開催のお知らせ

第5回福祉まつり

10月30日(日) 11時～15時 山村開発センターみずほ

京丹波町社協の事業や町内ボランティア活動を広く知っていただき、福祉を身近に感じていただくため福祉まつりを開催します！子どもから大人まで楽しめるイベントですので、みなさまお誘い合わせの上ご来場ください！今年は午前は式典・午後は各種コーナーの2部構成で開催します！お楽しみに！



数字で見る 京丹波の福祉



平成28年8月31日現在 ※()内は前号(H28.5.31)との比較

	丹波	瑞穂	和知	町全体	
人口	7,448人 (-22)	4,392人 (-19)	3,125人 (-8)	14,976人 (-49)	
65歳以上人口	2,668人 (±0)	1,853人 (-1)	1,449人 (+7)	5,970人 (+6)	
高齢化率	35.82% (+0.1)	42.19% (+0.16)	46.21% (+0.34)	39.86% (+0.17)	
ボランティア登録者数	0～14歳	12 (+3)	0 (±0)	0 (±0)	12 (+3)
	15～64歳	86 (+3)	45 (±0)	45 (±0)	176 (+3)
	65歳以上	204 (+6)	131 (+1)	132 (+1)	467 (+8)
	合計	302 (+12)	176 (+1)	177 (+1)	655 (+14)

たくさんのコーナーがあるよ♪

- ・ボランティア功労者表彰
- ・ボランティア体験コーナー
- ・さくらんぼコーナー
- ・京丹波町社協活動展示
- ・さをり織り体験
- ・子ども用品フリーマーケット
- ・京丹波町保健福祉課による健康増進コーナー
(骨密度・血管年齢の測定、唾液でストレス検査、がん検診啓発等)
- ・ステンドグラス体験コーナー
- ・くるみの会「おにぎり教室」
- ・キッズコーナー
- ・粘土教室
- ・スタンプラリー(会場内外)
- ・京丹波町共同作業所の自主製品販売
- ・かまど見学&試食
- ・厨房牛丼
- ・乗馬体験
- ・認知症啓発コーナー
- ・協力団体による模擬店
- ・消費生活啓発コーナー
- ・ファミサポコーナー
- ・防災コーナー(災害ボランティアセンター活動展示)
- ・共同募金コーナー
(ゆるキャラと写真も撮れるよ♪)